令和　5　年度　　国　　語　　科　シラバス

科　目	言語文化	単位数	1	履修学年・クラス（講座）	２年・全クラス
使用教科書	「新編　言語文化」（数研出版）				
補助教材等	「新編　言語文化　準拠ワーク」（数研出版）				

1　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知識及び技能】

(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】

(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【学びに向かう態度・人間性等】

2　学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○異なる国や文化に属する人びとを理解する力の基となる「我が国の言語や文化に対する幅広い知識や教養」を身に付けるための大切な授業です。学習活動それぞれのねらい・目的を意識しながら，積極的に授業へ取り組んでください。

○予習として本文を通読し，意味のわからない語句を明らかにしておきましょう。内容的に疑問を抱いた点については授業内で解決し，授業後はふり返って内容を確認してください。

○授業では「読む」「書く」活動だけでなく，「話す」「聞く」活動も行います。互いに相手が理解しやすいよう工夫を凝らしつつ自分の考えや思いを伝え合うことで，思考力を鍛え，表現力を磨くことができます。

○国語力の伸長を図ることは，短期間で効率的にできることではありません。日頃から本を読み，活字に慣れ親しむことで，語彙力を増やし，表現の幅を広げ，豊かな日本語の力を身に付けるよう心掛けましょう。

3　学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	言葉を知り，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。	我が国の言語文化に育まれた特徴的な表現（近代文学作品や古典）の技法とその効果について理解する。	言葉の価値への認識を深めるとともに，自分の考えを相手にわかりやすく，筋道を立てて伝え，言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとしている。
主な評価方法	・ペーパーテスト（事実的な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題）の結果	・ペーパーテスト ・レポート記述内容 ・グループでの話合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容や行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

４　学習及び評価計画

※評価の観点：（a）知識・技能，（b）思考・判断・表現，（c）主体的に学習に取り組む態度

月	単　元	教　　材	時数	学　習　内　容	評　価　規　準
4	「ことば」を吟味する	「船を編む」（三浦しをん）	10	・登場人物それぞれの性格や考え方の違いを，本文を根拠にしながら理解する。	・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している（a） ・本文中の心情を示す言葉を根拠に，読解を深めている（b）
5	先人を思う旅	「奥の細道」	8	・「平泉」に登場する3句の俳句について，表現の面白さや，詠み手の心情を理解する。	・古語の意味，俳句の内容について理解している（a） ・現在にも通じる要素を本文中から抽出し，自分なりにまとめている（b）（c）
6	語感を磨く	「側転と三夏」（武田綾乃）	9	・「私」の「姉」に対する心情の変化を整理し，また小説のタイトルについても理解を深める。	・語彙を豊かにしている（a） ・本文中の心情を示す言葉を根拠に，読解を深めている（b）
7	故事と成語	「管鮑の交わり」	8	・正しく訓読し，書き下し文に改めるとともに，漢文の内容を正確に理解する。	・漢語の意味を理解している（a） ・訓読の順や書き下し文について，提示された決まりを基に的確に捉え，理解している（b）